



宮城県 夏号

岩出山高等学校



学校便り

ひょうたん池

岩出山高等学校学校便り 令和6年度 第2号
令和6年9月10日発行

校訓

志 和 道
こころざし
わ みち

今年は例年よりも11日、昨年よりも14日も遅い梅雨入りでした。最近の梅雨はしとしとと降るというよりもゲリラ豪雨のような降り方です。山形や秋田に大きな被害を出した雨雲は宮城にも大雨をもたらしました。パリオリンピックの盛り上がりに合わせて梅雨が明け、猛暑の夏を迎えました。夏号では6月下旬から8月までの岩出山高校の様子をお伝えします。

～体育祭～

7月4日（木）、5日（金）の2日間にわたり体育祭を行いました。初日はバレーボールとバドミントンを、2日目はドッジボールと障害物リレー、クラス代表リレーを行いました。各クラスごとにTシャツを作り、一致団結して競技に臨む姿が見られました。やはり3年生のパワーは目を見張るものがありました。それでもすべてのクラスが何らかの賞状を受け取ることができたのはとても良かったと感じています。体育祭を無事に終わることができたのは、考査の前から丁寧に準備に当たってくれた体育委員や、競技の合間を縫って審判を務めてくれたバドミントン部の生徒たちのおかげです。選手も運営に当たる生徒も一丸となって取り組んだ素晴らしい行事でした。



～地域との連携～

7月6日（土）には、本校の3年生保育基礎選択の生徒が中心となって西大崎地区公民館主催で行われた七夕まつりで、読み聞かせとお祭り運営のボランティアに参加しました。また、8月7日（水）には同じく西大崎地区公民館主催のイベントにおいて、地域活動部調理研究班の生徒が打った蕎麦に、地域の高齢者の皆様が揚げた天ぷらを添えて一緒に食事をする交流を持ちました。更に、7月27日（土）には上野目地区親子ふれあいBBQのボランティア活動に参加し、野菜の収穫とバーベキューのお手伝いをしました。



7月17日（水）のLHRの時間には、岩出山大蔵流謡曲保存会の皆様をお迎えして鑑賞会を行いました。旧岩出山町の無形民俗文化財の指定を受け、現在に至るまで大切に受け継がれてきた岩出山大蔵流謡曲ですが、普通に学校生活を送っている限りはなかなか触れることはできないかもしれません。歌詞の意味も歴史的な背景も若者には少し難しい部分があったと思いますが、自分たちが暮らす町にこのような伝統文化が根付いているのだということを知るだけでも鑑賞会を開いた意義があるものと思います。



～第1回魅力化委員会～

本校独自の取組として「魅力化委員会」があります。魅力化委員会では、外部の様々な団体からのイベントやボランティアの依頼に応えること、生徒が自分たちでどのように地域に貢献できるのかアイデアを出して実践していくことを活動の柱としています。7月8日（月）には地域の委員の皆様をお迎えして、生徒たちが考えたアイデアをプレゼン



テーションし、実践に向けた助言をいただく会を持ちました。生徒たちからは「岩出山の良さを伝える観光ツアーができないか」「小中高が交流する機会を持つことができないか」といったアイデアが出ました。それに対し委員の皆様からは、観光ボラン

ティアグループとの交流やSNSを活用した観光案内、感覚ミュージアムで研究活動をしている大学生との交流、岩高短歌の展示を含めた中高合同の展示企画といったアドバイスをいただきました。

魅力化委員のブルーファームの早坂様には、昨年度おいしいコーヒーの淹れ方についてご指導いただきました。成果の披露も兼ねて、生徒たちが入れたコーヒーを委員の皆様にごふるまいましたが、大変好評でした。コーヒーが苦手な子供たちにも飲みやすいコーヒーのブレンドにチャレンジしてみよう、といったテーマもいただきました。



岩出山高校では今後も引き続き地域の皆様に愛され可愛がっていただけるような取り組みを進めてまいります。御指導御協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

～全国そば打ち選手権大会～

大崎タイムスにも掲載されましたので御存じの方もいらっしゃると思いますが、7月24日（水）に東京都立産業貿易センター浜松町館において、第14回全国高校生そば打ち選手権大会が行われました。本校の地域活動部調理研究班が2年連続で参加しました。この大会の様子はYouTubeで配信されたので、職員室でも先生方が熱心に応援していました。そば処の長野県と福井県の壁は厚く、残念ながら10位以内に入ることはできませんでしたが、生徒たちにとっては貴重な経験になりました。



～芸術鑑賞会～

8月28日（水）には芸術鑑賞会をスコレハウス岩出山で開催しました。今年は打楽器バンド・グータンブルよるラテン音楽、アフリカの音楽を鑑賞しました。普段聞きなれている曲をラテン風にアレンジした曲



や、ドラムと歌のみで構成される曲など、様々な曲を演奏していただきました。やはりプロの演奏を生で聞くことは本当に良いものだと感じました。日常生活ではマリimbaやヴィブラフォンといった有名なものを除き、打楽器に触れる機会はなかなかありません。生徒たちにとっても貴重な経験となったことでしょう。

